



広島中央トピックス



賃貸住宅経営を支援 クミアイ燃料アパートオーナー友の会



▲総会であいさつをする河野孝行社長

広島中央クミアイ燃料は、親会社のJAひろしまと連携し、JA組合員の賃貸住宅経営を支援しています。賃貸住宅にLPガスを供給。賃貸住宅を所有する組合員で構成するアパートオーナー友の会を運営して経営の長期的な安定と発展を目指します。

友の会は2001年に発足。会員は215人で、会員が所有する賃貸住宅502棟に、同社がLPガスを供給しています。

9月22日に広島市で開いた友の会の総会には、会員112人が出席。本年度の活動計画を決めました。



日頃の感謝を込めて 志和地区感謝祭

JA志和支店と志和アグリセンターは9月2、3日の両日、志和アグリセンターで感謝祭を開き、2日間で合計約1200人が来場しました。

志和堀保育所や東志和保育園の園児、生城太鼓・銭太鼓・八本松太鼓・ダンスチームのグループがステージで披露した他、土居神楽団が神楽ばやしを鳴り響かせました。じゃんけん大会では、ひろしま米キャラクターの「いーねくん」が登場し、子どもたちとじゃんけんをして会場を盛り上げました。

また、JA職員が二重焼や、キッチンカーで当地グルメの唐揚げ「コメカラ」のパザールを行なった他、野菜振興協議会が旬の野菜を販売しました。



▲子どもが参加した「いーねくん」じゃんけん大会



学ぼう食と農のつながり〜稲刈り体験!〜

今年も管内各地の学校で稲刈りの体験が行なわれました。児童は農家やJAと交流を図りながら元気よく稲刈りをしました。自然や農業に触れることで子どもたちの農業への関心が育まれています。



ご協力していただいた皆さん、ありがとうございます

豊栄小学校・三永小学校
乃美尾小学校・東西条小学校
農家の皆さん

なるほどえ〜のう！ 営農情報

水稲

農業機械の整備と土づくり

◆農業機械の整備・点検

11月に突入して気温も低くなり、これから本格的な寒さを迎えます。米作りにおいてこれからの時期は、比較的作業の少ない時期に入ります。この期間を利用して、普段使用している農業機械の清掃、点検、整備を行ないましょう。秋に使用したコンバインや乾燥機などは、ホコリや残粉が多く、翌年の混米の原因やネズミの巣ができる恐れがあるため特にきれいにしておきましょう。

農業機械は使用時期が限られるものが多く、使用間際になって機

械の故障に気づく場合があります。農繁期は農機センターも修理などで混雑するため、普段から細かく点検しておきましょう。また入念な点検、整備は機械の寿命を長くし、安全な農作業の確保にもつながります。

◆農作業中の事故を減らすには

農作業中の事故は、小さなものから大きなものまでさまざまです。特にこの時期は、圃場のすき込みなどでトラクターを使用することが多いです。トラクターは農作業中の事故でも毎年、上位にあげられる項目で、危険が多く潜んでいます。事故は事前の対策を徹底することで、被害を最小限に抑えることができます。

農業の現場ではまだ浸透していませんが是非、ヘルメットや安全靴の着用を検討していただきたいと思えます。「農作業にヘルメット?」と思われるかもしれませんが転倒した際や、頭部の保護という面では手軽で非常に優れています。農作業における着用の法的な義務はありませんが、安全確保の

ため着用を心掛けましょう。

他にも、作業中は携帯電話を常に持ち歩く習慣をつけてください。農作業は一人で行なうことも多々あり、常に周りに人がいる環境は決して多くはありません。また、自宅の隣が作業場で近いから大丈夫という考えは非常に危険です。非常事態にすぐ助けを呼べる環境は自分で備えておきましょう。そして冬場は、陽が短く、暗くなる時間も早いです。暗い時間帯での作業は視界も悪く、事故のリスクも高まります。くれぐれも無理をせず、そして焦らず、けがのないよう作業してください。



◆土づくり

11月は10月と比較すると気温が下がり、土壌微生物の動きも低下します。特にこれからは一気に冷え込む時期なので稲わらのすき込みには注意してください。

10月号にも記載しておりますが、稲わらの分解には温度が関係しています。稲わらを分解する土壌微生物はおよそ15℃以上の温度では活発に活動しますが、左の表を見ても分かるように11月の平均気温は15℃を下回ります。温度が低い時に稲わらを深くすき込むと腐りにくいので、浅くすき込みましよう。水田は冬の間、水を張らずに乾かすことで土壌状態のバランスを保つことができます。しっかりと乾かして土壌の乾土化に努めましょう。

(表) 直近3年の10月、11月の平均気温

年	10月	11月
2020年	15.4℃	11.0℃
2021年	16.6℃	9.4℃
2022年	15.4℃	11.2℃

気象庁HPより参照

野菜

タマネギ栽培

◆タマネギの特徴・品種選定

タマネギは、生では辛味と独特の香りがありますが、加熱すると甘い味に変化します。また、カルシウムやリン、鉄などのミネラルやビタミンB1、B2も含んでいて、大変栄養価の高い野菜です。煮物、炒め物、揚げ物などの各種料理やサラダにも適していて、利用範囲が大変広く、一年中食卓に欠かせない野菜です。

秋まき栽培は、早採り栽培の場合、貯蔵性は良くありませんが肥大のよい早生種を用い、普通栽培では中生種を、貯蔵用栽培では貯蔵性の高い晩生種を用います。

辛さでみると、刺激成分の多い東ヨーロッパ系の辛タマネギと、刺激成分が少ない南ヨーロッパ系の甘タマネギがあり、さらに表皮の色には黄色系、赤色系、白色系があります。日本ではほとんどが辛タマネギで、表皮の色は主に黄

色系ですが、赤タマネギは甘みがあって生食に適します。

タマネギは晩生品種を中心に年間を通して需要がある品目で、園芸品目経営においても有望な品目でもあります。

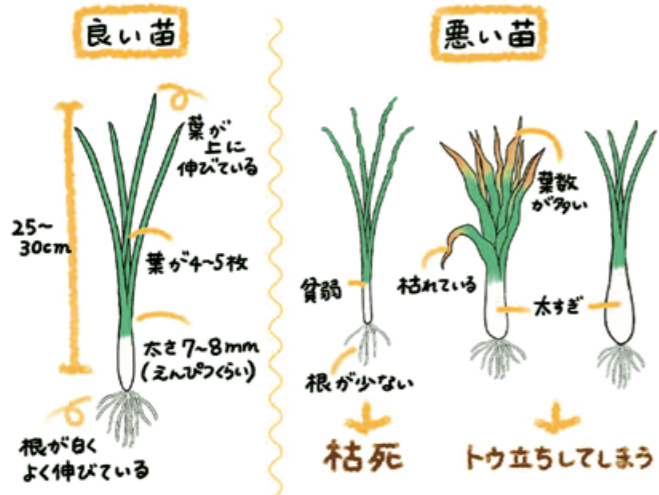


◆栽培のポイント

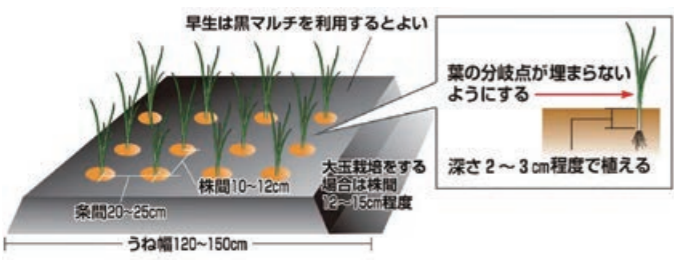
良品質のタマネギ生産には良い苗選びが重要です。苗を栽培されている場合はできるだけ下のイラストのように、葉が上に伸びて4〜5枚程度あり、太さが7〜8mm程度のもものを選ぶようにしましょう。

また、定植後には活着を促進させるため十分に灌水することも、保温や保湿、凍霜害から苗を保護するためみ殻を株元に施すと良いでしょう。なお、次のような場合は「ネキリムシ類」による苗の食害が発生

良品生産は良い苗選びから!!



定植は適期に、適切に!!



薬剤を散布するなど、対策を施してください。

また、寒さへの活性を高めるため定植1カ月後を目安に野菜有機129等の追肥を施しましょう(約50g/m²)。



肥料価格高騰緊急対策のご案内

～肥料価格高騰に直面する農家の皆様を支援します～



肥料価格の高騰による農業経営への影響緩和のため、化学肥料の低減に向けて取り組む販売農家のみなさまの**肥料費を支援**します。



支援の対象となる肥料

令和5年6月から**令和5年10月**に購入した肥料（本年の秋肥として使用する肥料）が対象です。※肥料法に基づく肥料に限ります！

支援の内容

化学肥料低減の取り組みを行なった上で前々年度から増加した肥料費について、その**7割**を支援金として交付します。

$$\text{支援金} = \left(\text{当年の肥料費} - \left[\frac{\text{当年の肥料費}}{\left(\frac{\text{価格上昇率}}{\left(\frac{\text{統計データを基に決定}}{1.27} \right)} \right)} \div \text{使用量低減率} \right] \right) \times 0.7$$

(価格上昇率) (0.9)

申請に必要なもの

次の2つがあれば申請できます。

- ① **本年秋肥（令和5年6月～10月に注文）**の購入価格がわかるもの（**注文票**など）
※注文票のほか、領収書または請求書が必要です。
- ② **化学肥料低減**に向けた取り組みに**2つ以上**取り組むこと
※ R4秋肥、R5春肥において、既に取り組まれている場合は、新たな取り組みは不要です。

広島県肥料価格高騰緊急対策事業のJA受付について

【受付期間】 令和5年 **11月13日(月)～12月1日(金)**

【受付窓口】 各アグリセンター

申請に必要なもの

- ① **販売証明書(領収書控え等)** ※今年度JAへ出荷された方は不要です
- ② **振込先の通帳等の写し**（通帳を開いた一面〈口座情報の記載がある面〉）
- ③ **JA以外で期間内に購入した肥料の領収書等の写し**
（対象購入期間は、令和5年6月1日～令和5年10月31日）

【お問い合わせ先】 広島中央地域本部 営農支援センター TEL:082-423-5913
または、広島中央管内の各アグリセンター